

# 乗鞍岳における自然環境調査について

岐阜県飛騨県事務所環境課

乗鞍岳は、「中部山岳国立公園」に位置し、国の特別天然記念物であるライチョウのほか、コマクサ、クロユリなどの貴重な高山植物の自生が見られることから、毎年多くの観光客が訪れています。

この乗鞍岳には、平湯峠から標高2,702mの畳平まで「乗鞍スカイライン」が通っていますが、平成15年にマイカーでの乗り入れが規制され、併せて乗鞍岳の環境保全施策の費用に充てることを目的とした「乗鞍環境保全税」が導入されました。

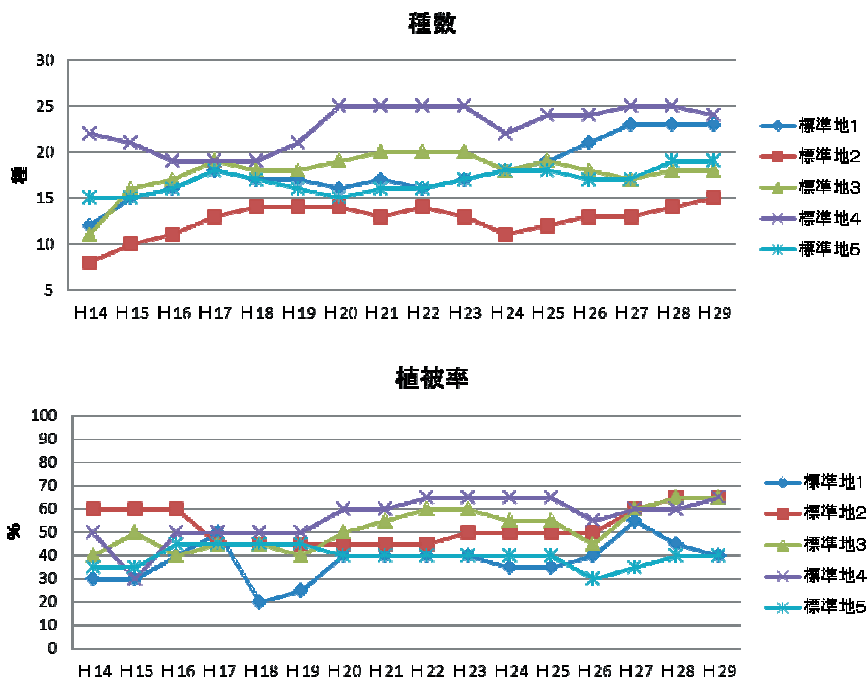
県では、この「乗鞍環境保全税」を原資として、毎年、乗鞍岳周辺の自然環境調査を実施しています。今回は、これまでに行った自然環境調査の一部について、ご紹介します。

## 1 植生状況調査

この調査は、乗鞍畳平駐車場周辺に5箇所の標準地を設定し、その標準地を形成する植物の種数や植被率(正方形の枠内を植物が覆っている割合を示した数値)の変化を確認するものです。

これまでの調査結果では、植物の種数・植被率ともに概ね横ばいであり、人為的な要因よりは、気象条件や表土の流出入等によって植被率が左右される傾向がみられます。

なお、移入種については、乗鞍美化の会などが行っているセイヨウタンポポの除去活動により減少していますが、今後も継続して、監視や早期除去が必要となっています。



## 2 水質等調査

この調査は、乗鞍岳での酸性雨や乗鞍畳平にある施設などからの排水の水質を確認するため、鶴ヶ池と亀ヶ池の水質調査を行うものです。

これまでの調査結果では、いずれも低い数値で安定している状況であることから、人為的な汚染の影響はないものと考えられます。

### ① 酸性雨調査

※旧高山市街地

項目	単位	乗鞍畳平														高山市	
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H17
水素イオン濃度	pH (20℃)	5.30	5.90	5.10	5.80	5.91	5.34	5.64	5.72	5.89	5.25	5.60	5.52	5.61	5.49	5.56	5.20
電気伝導率	mS/m	1.40	1.30	1.00	0.30	0.55	0.71	0.78	0.49	0.50	0.55	0.56	0.57	0.58	0.63	0.84	1.80
硝酸イオン	mg/L	0.50	0.40	0.60	0.09	0.41	0.53	0.49	0.43	0.22	0.33	0.46	0.63	0.28	0.34	0.46	1.00
塩化物イオン	mg/L	0.30	0.30	0.30	0.10	0.11	0.15	0.20	0.20	0.18	0.09	0.14	0.19	0.15	0.57	0.95	1.00
硫酸イオン	mg/L	1.10	0.90	1.30	0.25	0.67	0.85	1.05	0.56	0.39	0.52	0.76	0.71	0.47	0.42	0.47	2.10
乾性降下物量	mg	13.40		10.00	5.10	37.65	5.42	1.81	1.41	1.56	3.14	2.66	3.34	2.03	5.95	1.64	256.00

### ② 水質調査

採取場所	項目	単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	環境基準
鶴ヶ池	水素イオン濃度	pH (20℃)	5.82	5.86	5.84	5.96	6.14	5.84	5.64	5.72	5.84	5.98	5.88	6.5～8.5
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.62	0.50	0.50	0.50	0.70	0.52	0.50	0.50	0.54	0.54	0.56	1以下
	浮遊物質 (SS)	mg/L	1.40	1.20	3.60	2.00	1.00	1.00	1.40	1.00	1.40	1.20	1.40	25以下
	大腸菌群数	MPN /100ml	3.00	2.24	2.34	2.34	6.04	1.88	1.88	6.68	1.84	50.7/2	6.92	50以下
	n-ヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	—
亀ヶ池	水素イオン濃度	pH (20℃)	5.52	5.34	5.79	5.52	5.78	5.48	5.32	5.58	5.86	5.66	5.32	6.5～8.5
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.54	0.50	0.50	0.50	0.50	0.66	0.50	0.50	0.54	0.52	0.50	1以下
	浮遊物質 (SS)	mg/L	1.00	1.00	1.00	1.00	1.20	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	25以下
	大腸菌群数	MPN /100ml	1.80	1.80	1.80	5.88	1.80	4.58	6.58	4.62	1.80	8.62	6.08	50以下
	n-ヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	—

※ 数値の後にーが付いたものは数値未満を示す

## 3 その他

自然環境調査では、その他に自動車排出ガスに含まれる窒素酸化物や粒子状物質などの大気環境の状況や、乗鞍スカイライン周辺の主要樹種であるシラベの立ち枯れ状況、ハイマツの枯損状況についても調査を行っています。

また、これらの調査とは別に環境保全を目的とした「乗鞍環境パトロール員」を配置し、植物等の採取の防止、侵入禁止区域への立入防止などの指導のほか、高山植物の開花状況やライチョウの目撃情報などを観光客の方へご案内しています。

今後とも自然環境調査や環境パトロールを継続し、乗鞍岳の貴重な自然環境を守りつつ、適正な利用の推進に努めていきたいと考えています。

乗鞍スカイラインは、11月1日より冬季閉鎖に入りました。来シーズンは5月15日オープンの予定です。ぜひとも自然豊かな乗鞍岳へお越しください。